取扱説明書

yamada

白熱灯シ-リング
(天井付専用型)
ご使用になられる前に必ずお読み下さい

この取扱説明書には取り付け方や電球の交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ　：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕様

品番	適合ランプ
LE−3790	E17 ミニクリプトン電球(ホワイト) 60wX4
LE−3791	E17 ミニクリプトン電球(ホワイト) 60wX6
LE−3792	E17 ミニクリプトン電球(ホワイト) 60wX8

この取扱説明書のマ-クについて。

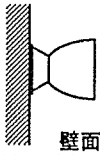
⚠ 警告　説明書中の　警告　は重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠ 注意　説明書中の　注意　は物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗ このマ-クについている説明文は、必ず守ってください。
⃠ このマ-クについている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

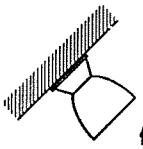
● 取り付け　取扱い上の注意

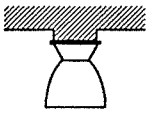
⚠警告

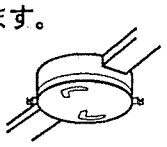
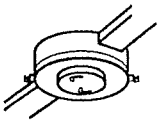
⃠ 一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★漏電や感電事故の原因となります。

⃠ 次のような場所には取り付けないでください。
★いずれの場合も器具の落下による器具、その他の破損やケガの原因となります。


壁面


傾斜した場所


不安定な場所



ケースウェイにセットされている配線器具

- 補強材の無い場所への取付け。（ボックスに取り付ける場合を除く）。
- 石膏ボ-ドなど弱い建材面への取り付け。
- 樹脂製ボックスカバ-への取り付け。
（埋め込みボックスに取り付ける場合は、必ず金属性ボックスカバ-に取り付けてください）。
- 凸凹のある面には取り付けないでください。
- サウナへの使用。
★器具の破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。

⃠ 器具を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

⃠ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

⚠注意

❗ ＡＣ100Ｖ専用です。必ずＡＣ100Ｖの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱して、火災の原因となることがあります。

❗ この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

⃠ 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★器具カバ-の変形や火災の原因となります。

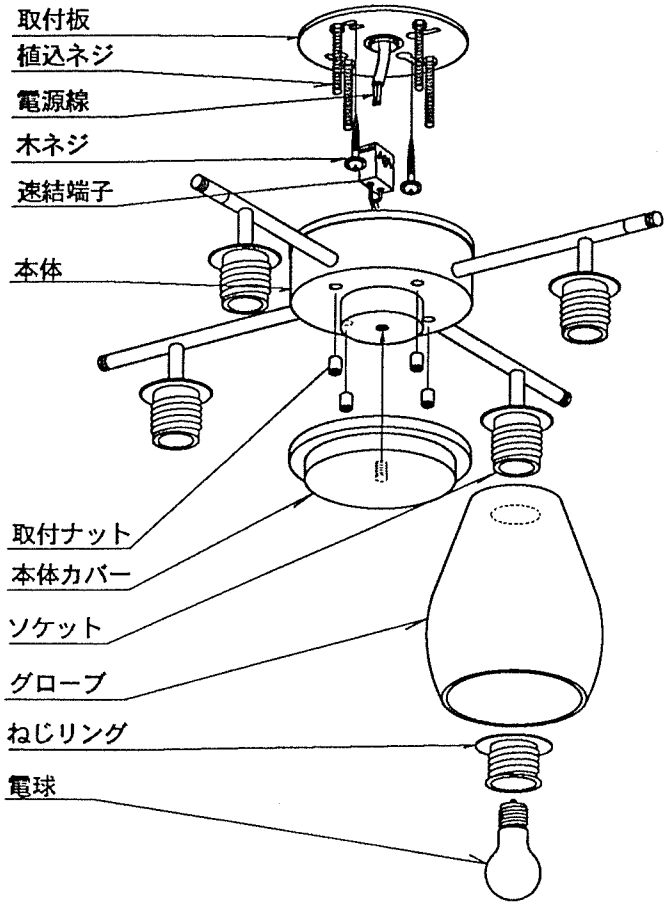
⃠ 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバ-のヒビ割れなどの原因となります。

⃠ ヒビの入ったカバ-や、一部の欠けたカバ-は使用しないでください。
★カバ-の破損、落下の原因となります。

各部の名称

（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または別紙の山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。）

器具構成図



付属品

木ネジ ―――― 2本

LE-3790
E17ミニクリプトン電球(ホワイト)60W ― 4個
LE-3791
E17ミニクリプトン電球(ホワイト)60W ― 6個
LE-3792
E17ミニクリプトン電球(ホワイト)60W ― 8個

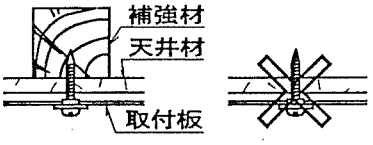
取扱説明書（本書） ―――― 1枚

保証とアフターサービス（別紙） ―――― 1枚

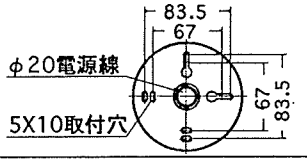
取り付け場所の確認

⚠ 警告 ❗ 取付板は、必ず補強材のある場所に取り付けてください。
★補強材のない場所に取り付けた場合、
器具の落下事故の原因となります。

⚠ 注意 建物の構造によっては、付属の木ネジでは取り付けられないことがまれにあります。そのような場合には、器具取り付け場所の構造を確認の上、適切な長さの木ネジにて取り付けてください。



◆取付穴位置と電源線位置



取り付け方　⚠ 注意 ❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

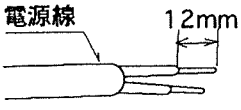
⚠ 警告 ❗ 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下によるケガや火災、感電事故の原因となります。

⚠ 注意 ❗ グローブは、ガラス製ですので取り扱いには十分に御注意ください。
★ガラス割れ等の事故や「けが」の原因となります。

● 器具を取り付ける前に。
取付ナット（4個）をはずして、本体から取付板を取りはずしてください。

❗ 端子に差し込むケ-ブルは、必ずＶＶＦΦ1.6またはΦ2.0の単線ケ-ブルで真っ直ぐな線を使用してください。
★指定以外のケ-ブルや曲がった芯線、汚れた芯線の使用は、接触不良よる火災、感電事故の原因となります。

1、電源線の被覆を剥ぎます。(図1)
①電源線の外側の被覆を剥ぎます。
②電源線の被覆を端子背面のストリップゲージ（12mm）に合わせて剥ぎます。



（図1）

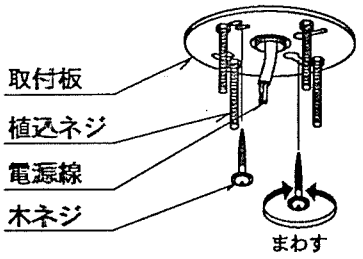
2、取付板を取り付けます。(図2)

①電源線を電源穴より器具内に差し込みます。

②付属の木ネジ2本をねじ込み固定します。

＊8灯用(L E-3792) には仮吊りチェーンが付いています。
取付板のフックにチェーンを引っ掛けてください。

(図2)

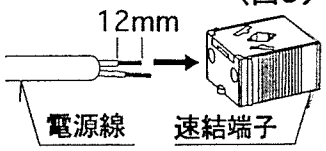


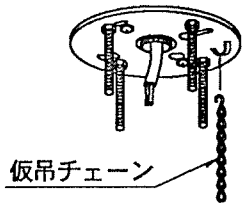
3、電源線を接続します。 (図3)

速結端子に電源線を差し込みます。

*電源線をはずす場合は、幅6mmのマイナスドライバーをはずし穴へ真直ぐ差し込むとはずれます。

(図3)





L E-3792
の場合

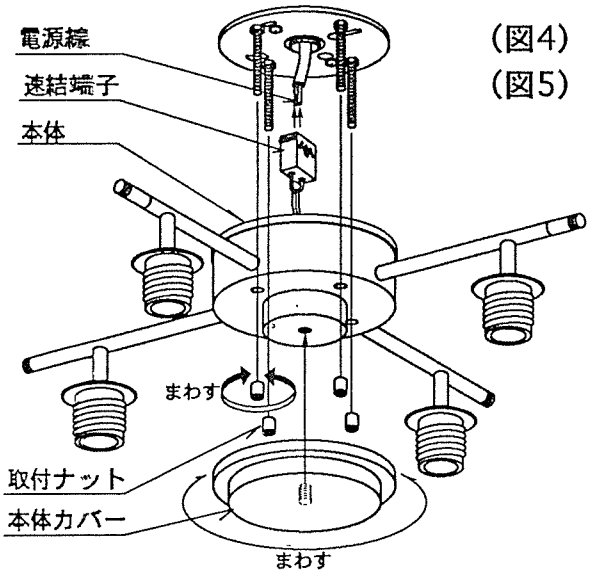
4、本体を取り付けます。 (図4)

取付板の植込ねじに合わせ入れ
取付ナット（4個）を締込み固定します。

5、本体カバーを取り付けます。(図5)

本体カバーを本体のねじ部に
合わせ入れ、ねじ込みます。

(図4)
(図5)



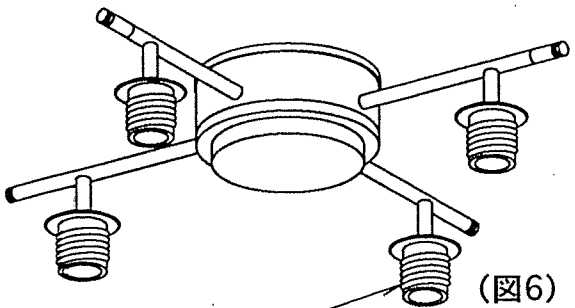
6、グローブを取り付けます。 (図6)

グローブをソケットに合わせて入れて
ねじリングをソケットに合わせてねじ込みます。

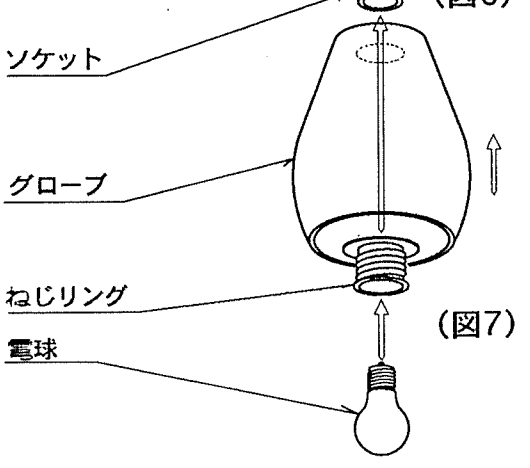
⚠注意

⃠ ねじリングは、必要以上に締め込まないでください。
★グローブが割れる恐れがあります。

❗ グローブにヒビが入っていたり、一部が欠けている場合には、ただちに新しいグローブと交換してください。
★グローブの破損、落下の原因となります。



(図6)



7、電球をセットします。 (図7)

電球をソケットに合わせてねじ込みます。

⚠ 注意

⃠ 電球は乱暴に扱わないでください。
★電球が割れてケガをする恐れがあります。

(図7)

スイッチ操作

壁スイッチにて ON-OFF 操作を行います。

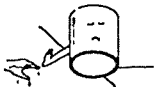
お手入れについて ⚠ 注意 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

● こまめに清掃を：照明器具や電球が汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

⚠ 注意

● 電球の交換やお手入れをするときは、必ずスイッチを切ってからとりかかってください。
★火災や感電事故の原因となります。

● スイッチを切った直後の電球は熱くなつています絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオルなどを使って交換してください。★火傷の原因となります。



● 濡れた手で触らないでください。★感電事故の原因となります。

● 電球は乱暴に扱わないでください。　★電球が割れて怪我をする恐れがあります。

● 適合電球以外の電球は使用しないでないでください。表紙の仕様欄を確認し、正しい電球をご使用ください。
★不適合な電球を使用すると異常過熱による火災の原因となります。

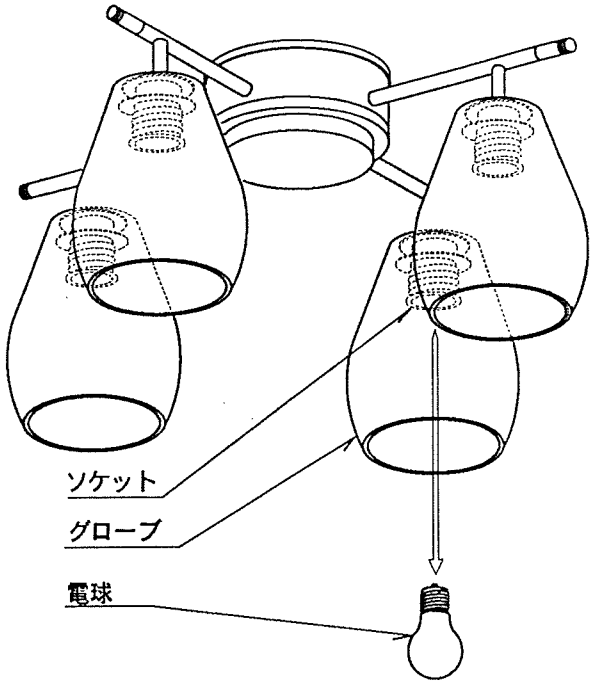
● シンナ-やベンジンなど揮発性の薬品やクレンザ-などは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり変色や変質の原因となります。

■電球の交換

1　スイッチを切ります。
⚠ 注意　電球交換時、
ぬれた手でさわらないでください。
★感電事故の原因となります。

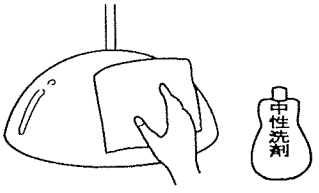
2　電球を交換します。
グローブの中に手を差し込み
電球を交換します。

⚠注意　電球は乱暴に扱わないでください。
★電球割れ等の事故の原因となります。



■お手入れのしかたについて

①スイッチを切ります。
②柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
③汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
④最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。



■アフタ-サ-ビスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態となりましたらただちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）
故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げ頂きました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。